

第1日 5月24日(土)

◆理事会 13:00~13:30 (カルフル3F会議室1)

◆受付開始 13:30

◆研究報告I 14:00~16:30

[第1室] 理論・学説I (8号館851) 司会:野村明宏(四国学院大学)

1. 自己現象としての対話的自己 河井 亨 京都大学
2. 日本におけるポストモダンのアイデンティティ 柴田智恵 松山大学
3. 社会的誤認の肯定的側面について 藤岡達磨 神戸大学
——消費社会における主観的意味と経済的利潤——

[第2室] 理論・学説II (8号館852) 司会:木前利秋(大阪大学)

1. ライフステージ移行の社会的装置 今津孝次郎 名古屋大学
——時間社会学の視点から——
2. 移動パラダイムの生成とグローバリゼーションのリアリティ 藤田智博 大阪大学
——ある旅行記の分析を通して——
3. グローバル化時代における文化概念 白石哲郎 佛教大学

[第3室] 家族・子育て(8号館853) 司会:中里英樹(甲南大学)

1. 子育ての楽しみとはなにか 越智祐子 (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
——つらくも楽しいその現実——
2. 企業福祉と子育て・家庭支援 川上千佳 奈良女子大学
——ケーススタディを通して——
3. 父親の子育て意識と子育て支援 田中結花子 中部大学
——父親に対する子育て意識・育児行動の実態調査からの一考察——
4. 「先輩ママ」から「後輩ママ」への子育ての助言 戸江哲理 京都大学
——乳幼児をもつ母親の会話分析——

[第4室] 都市・地域I (8号館854) 司会:原田隆司(甲南女子大学)

1. 大規模災害と避難支援 〇田邊 浩 金沢大学
——災害時要援護者リストの現状と課題—— 轟 亮 金沢大学
2. 語りの社会学と記憶の社会学 亙 明志 長崎ウエスレヤン大学
——壱岐における朝鮮人海難事故をめぐって——
3. ポスト同和行政における被差別部落の課題 山本崇記 立命館大学
——京都市崇仁地区を事例に——

[第5室] 政治・社会運動（8号館855） 司会：鶴飼孝造（同志社大学）

1. 稟議制と文書主義 水垣源太郎 奈良女子大学
——日本の行政組織における意思決定と情報公開——
2. 社会的結束と文化的多様性に対する「Britishness」の機能 安達智史 日本学術振興会
——イギリスにおける人種関係政策の評価のための一視座—— (東北大学)
3. 大江・岩波沖縄戦裁判に表出された現代の沖縄差別 西浜檜和 大阪市立大学
——沖縄戦は何故「国民の記憶」とならないか——
4. 〈帽子をかぶった〉平和活動者 門野里栄子 甲南女子大学
——無意識の抑圧者から主体的な支援者へ（素描）——

[第6室] 経済・経営（8号館856） 司会：辻 勝次（立命館大学）

1. 電子市場に関する制度論的考察 ○矢寺顕行 神戸大学
——NCネットワークにみる制度設計のあり方—— ○浦野充洋 神戸大学
宮本琢也 神戸大学
2. 日本の自動車部品企業の対中投資行動 萬成 博 中山大學
——独立系部品企業の経営戦略、技術経営、社会的差異——
3. 日本的経営における組織と個人の関係性 ○服部泰宏 神戸大学
——「失われた10年」を経て—— 宮本琢也 神戸大学
4. 伏見酒造業における酒造技術者の実践コミュニティ 田崎俊之 同志社大学

[第7室] 文化・知識（8号館857） 司会：川田 耕（京都学園大学）

1. 幕末武士層による水戸学受容と明治維新 北野雄士 大阪産業大学
——尊王敬幕の水戸学から討幕派が生まれた逆説を巡って——
2. 社会主義文化再考 菅原 祥 京都大学
——戦後ポーランド映画における「ちんぴら」像の検討から——
3. 俳句コミュニケーション 碓井 崧
——俳句の社会学の試み——

[第8室] 宗教（8号館858） 司会：兼子 一（近畿医療福祉大学）

1. SGI—USAの展開 川端 亮 大阪大学
2. ハワイからスタートしたSGI 秋庭 裕 大阪府立大学
——仏法東漸から仏法西還へ——
3. ユダヤ教における食事規定について 小田雄一 京都大学

[第9室] ジェンダー (8号館859) 司会: 山根真理 (愛知教育大学)

1. 「セクシュアリティ」概念再考
——精神分析の導入へ向けて—— 古川直子 京都大学
2. 産む主体であることのアンビヴァレンス
——「自然な出産」をめぐる光と影—— 白岩優姫 大阪大学
3. 〈産業別ジェンダー分業型都市〉呉市における女性の就業構造 佐藤洋子 広島大学
4. 就労形態別に見た成人女性の生活と意識
——2つの「呉女性調査」をもとに—— 佐々木さつき 広島大学

[第10室] 情報・メディア (8号館860) 司会: 加藤清明 (中京大学)

1. 情報ネットワーク社会における著作権問題 車 愛順 京都大学
2. インターネットにおける映画字幕改善運動
——ネット公共圏論からの一考察—— 荒木亜里幸 関西大学
3. メディア・イベントとしての愛知万博に関する研究
——メディア・イベント研究への空間論的アプローチ—— 岡村徹也 名古屋大学
4. 広島におけるアニメーション文化の転換 谷口重徳 広島国際学院大学

[第11室] 観光 (8号館843) 司会: 遠藤英樹 (奈良県立大学)

共同報告: 世界遺産「熊野古道」が表象するもの——熊野地域における観光と社会変容

1. (1) 混迷する「平成の大合併」と圏域空間
——田辺市本宮町の事例—— 柴田和子 龍谷大学
- (2) 熊野をめぐる観光のまなざしの変遷
——国立公園から世界遺産へ—— 寺田憲弘 龍谷大学
- (3) 「なくしたもの」へのツーリズム
——世界遺産「熊野古道」をめぐるノスタルジアのまなざし—— 中井治郎 龍谷大学
- (4) 観光に見られる「地域」とナショナルなものに関わり
——世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」から—— 湯川宗紀 龍谷大学

◆総会 16:50~ (8号館844)

◆懇親会 18:00~20:00 (カルフル1F生協食堂)

第2日目 5月25日(日)

◆受付開始 9:00

◆研究報告Ⅱ 9:30~12:00

[第1室] 理論・学説Ⅲ(8号館851) 司会:宮本孝二(桃山学院大学)

1. 情報社会の包括的分析枠組みへの理論的アプローチ 高橋顕也 京都大学
——吉田民人およびN. ルーマンの社会理論の検討から——
2. アーレントとハーバーマス 高橋陽子 名古屋産業大学
——カフェ・サロン文化への評価の違いから——
3. 支配の思想としての民主主義 今田勝規 京都大学
——1920年代のレーニンと農村共同体——

[第2室] 階層・社会調査法(8号館852) 司会:川端 亮(大阪大学)

1. 戦後占領期における世論調査の導入と小山栄三の調査研究 奥村元紀 関西学院大学
2. 世代間移動パターンにおける非正規雇用の位置 ○平尾一朗 大阪大学
——RCモデルを用いて—— 太郎丸博 大阪大学
3. 階層・意識・学力の関連構造とその背景 多喜弘文 同志社大学
——PIISA2003を用いた国際比較——
4. 社会学的説明の諸様式 藤原英男 藤原コレクション

[第3室] 都市・地域Ⅱ(8号館853) 司会:中村則弘(愛媛大学)

1. 中国都市「社区」における住民自発結社 劉 晴暄 金沢大学
2. 企業改革と「跳槽」 中村 圭 同志社大学
——中国沿海都市部A社の事例を通して——
3. アフリカ民潭について 朝倉恵俊 龍谷大学
——バンツ一族の思考法など——

[第4室] 教育(8号館854) 司会:稲垣恭子(京都大学)

1. 大学生の就職決定に関するパネル調査 ○胡 曉麗 龍谷大学
古川秀夫 龍谷大学
2. サービスラーニングの可能性 ○古川秀夫 龍谷大学
——アメリカ社会学の経験から—— 大東貢生 佛教大学
柴田和子 龍谷大学
富川 拓 清泉大学
大山治彦 四国学院大学
3. 体験学習の受け止められ方とその規定要因 大瀧友織 関西大学
——兵庫県「トライやる・ウィーク」を事例に——
4. 大学進学に対する地方居住のもつ意味 雨森 聡 同志社大学
——地域的教育機会格差に焦点を置いて——

[第5室] 監視(8号館855) 司会: 亘明志(長崎ウエスレヤン大学)

1. 監視カメラの意味づけを変質させる実践の可能性
——ある地域社会における街づくりの事例を通して—— 朝田佳尚 京都大学
2. 「監視社会」と空間のポリティクス
——京都市繁華街の事例をもとに—— 山本奈生 佛教大学
3. 日系—南米人の「監視の経験」をめぐる一考察
——「重層的経験」と「位相間転移」の観点から—— 稲津秀樹 関西学院大学

[第6室] 医療・福祉(8号館856) 司会: 栗岡幹英(奈良女子大学)

1. 逸脱現象における「心」から「脳」への理解枠組みの変化
——広汎性発達障害の医療化過程を通して—— 井出草平 日本学術振興会
2. インフォームドコンセントについて
——HIV陽性者を中心としたある団体の機関誌から—— 大北全俊 大阪大学
3. 子どもの近くに転居してきた「呼び寄せ高齢者」に関する研究②
——聞き取り調査の事例から—— 伊藤シヅ子
4. 高齢者施設の脱アサイラム化とケア労働
——「VIPユニット」とよばれる現場から—— 岡 京子 川崎医療短期大学

[第7室] 社会意識(8号館857) 司会: 工藤保則(龍谷大学)

共同報告: 現代高校生の規範意識

1. (1) 2007年調査の目的と方法 友枝敏雄 大阪大学
(2) 高校生の友人関係 竹内慶至 大阪大学
(3) 高校生のパーソナリティと社会的性格 伊藤麻沙 大阪大学
(4) 地位達成志向の変容 菅澤貴之 九州大学
(5) 保守回帰現象とジェンダー観 森 康司 久留米大学

[第8室] エスニシティ(8号館858) 司会: 秋庭裕(大阪府立大学)

1. 地方都市における外国籍住民と日本人住民とのつきあい
——金沢市民のコミュニティに関する意識・行動調査から—— 俵 希實 金沢大学
2. 日本における日系ブラジル人のエスニシティ ERNANI SHOITI ODA 京都大学
——神戸市の事例から——
3. 「戦略」としてのハイブリディティ 李 洪章 京都大学
——在日朝鮮人=日本人間「ダブル」を事例として——
4. 日本人の日本人に対する否定的態度について 木村有伸 立命館大学
——社会的アイデンティティ理論の枠組を用いて——

[第9室] 社会問題（8号館859） 司会：吉田竜司（龍谷大学）

共同報告：「見えないホームレス」と社会的排除——大阪ネットカフェ生活者調査から

1. (1) 不安定労働における断続的失業と住居喪失の過程 桜田和也 大阪市立大学
- (2) ネットカフェ生活者における環境としての家族 堤圭史郎 大阪市立大学
- (3) ネットカフェ生活者の現状と社会制度 大倉祐二 大阪市立大学
2. 若者のゆくえ 玉本拓郎 龍谷大学
- 個人化論からの一考——

[第10室] 環境・文化遺産（8号館860） 司会：小川伸彦（奈良女子大学）

1. 住民運動による歴史的環境の創出過程 松井理恵 筑波大学
- 韓国・大邱における日本式家屋保全の事例から——
2. 外国人にとっての四国遍路 デイビット・モートン 徳島文理大学
- 四国八十八ヵ所巡りが世界遺産に指定される意義について——
3. エネルギー資源から文化資源としての炭鉱にみる文化遺産化への意志 西牟田真希 関西学院大学
4. 環境への関心はいかなる要因によって形成されるのか 阪口祐介 大阪大学
- ISSP調査を用いた環境保護の支持と環境リスク認知のマルチレベル分析——

[第11室] テーマセッション（8号館843） コーディネーター・司会：牟田和恵（大阪大学）

ジェンダー学の意義と可能性 ——松山市議会でのジェンダー学バッシングから考える——

- (1) 「共同参画」と「平等」の間にあるもの 笹沼朋子 愛媛大学（特別報告）
 - 松山市議会発ジェンダーフリー・バッシングを例にして——
 - (2) 行政改革という名のバックラッシュに抗して 古久保さくら 大阪市立大学
 - 大阪府ドーンセンターをめぐる女性たちの運動——
 - (3) フェミニズム・イメージとフェミニスト・アイデンティティ 荒木菜穂 神戸大学
 - 「フェミニズム嫌い」の時代に——
- 討論者 木村涼子 大阪大学

◆シンポジウム 13:00~16:30

第1シンポジウム 被爆がもたらす〈意味〉の現在——戦争体験の社会学という視座（8号館844）

司会：好井裕明（筑波大学）・沢田善太郎（広島国際学院大学）

第1報告	〈被爆体験〉の境界と〈被爆〉を語る言葉	直野章子	九州大学
第2報告	ヒロシマをめぐる語りの磁場をめぐって ライフストーリー研究の一つの試み	八木良広	慶応義塾大学
第3報告	被爆地から「伝える」仕事を続けて	森田裕美	中国新聞記者
		討論者 高橋三郎	京都大学名誉教授

第2シンポジウム 環境メディアの誕生と社会（8号館845）

司会：田中 滋（龍谷大学）・井上真理子（京都女子大学）

第1報告	環境問題における全体と個の緊張	丸山康司	東京大学
第2報告	戦後日本における国土緑化運動の再開 ——「社会的自然」の観点から——	中島弘二	金沢大学
第3報告	農山村における環境メディア	寺岡伸悟	奈良女子大学
		討論者 湯川宗紀	龍谷大学
		平岡義和	静岡大学

2008年度関西社会学会総会

日時 5月24日(土) 16:50～

会場 8号館844

総会次第

開会の辞

会長挨拶

議長発議

<報告>

庶務報告

編集委員会からの報告

奨励賞選考委員会からの報告

その他

<議事>

2007年度決算の承認について

2008年度予算案の承認について

来年度開催校について

その他

閉会の辞

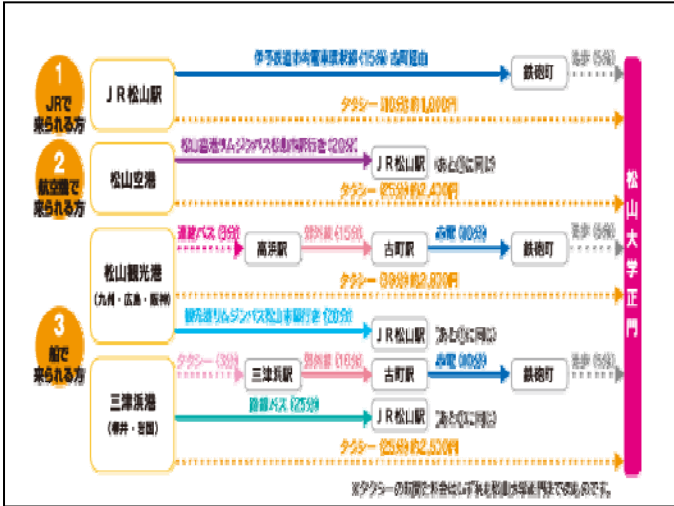
参加費用

大会参加費	2,000円
懇親会費	(一般) 5,000円 (学生) 3,000円
年会費(今年度分)	(一般) 4,500円 (学生) 3,500円

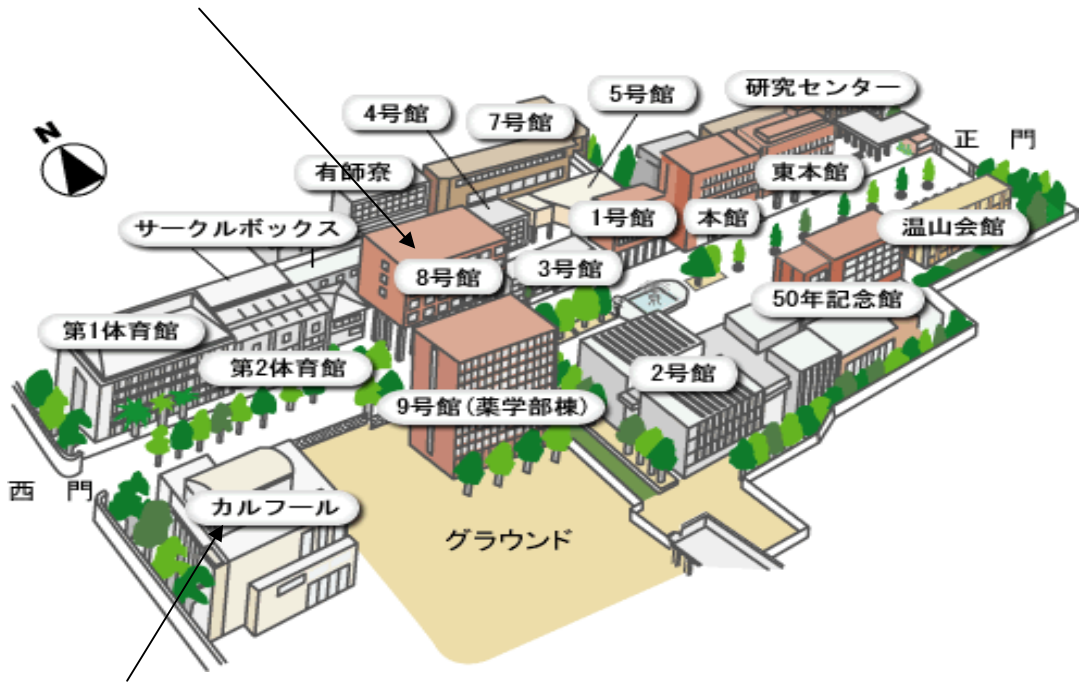
松山大学への交通案内図

松山大学 文京キャンパス

〒790-8578 松山文京町 4-2



8号館 3～5階
 (受付…8号館 4階)



懇親会会場…カルフル 1階 (生協食堂)
 理事会・シンポジウム打合せ…カルフル 3F 会議室